

秋田県立秋田高等学校

令和 8 年度全国高等学校総合体育大会卓球競技 寄付金御礼および出場報告書

日 程 令和 8 年 8 月 1 3 日～1 7 日

会 場 大阪府 A s u e アリーナ大阪(大阪中央体育館)



秋田県立秋田高等学校卓球部

OB会会長 齊藤 修

親の会会長 齊藤 亮人

大阪インターハイ 寄付のお礼と結果報告

秋田県立秋田高等学校

卓球部顧問 鳥井 拓弥

この度は、秋田高校卓球部に温かいご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。本校卓球部は、悲願であった12年ぶり9度目のインターハイ学校対抗出場を果たしました。

皆様から賜りましたご支援につきましては、主にインターハイ出場に伴う生徒・外部コーチの交通費・宿泊費等、インターハイ直前に実施した岐阜遠征（8月10日 富田高校、8月11日 清凌高校・関商工高校）の経費、ならびに学校対抗用チームユニフォームの更新費用として、大切に活用させていただきました。おかげさまで十分な準備を整えて大会に臨むことができました。また、応援生徒や現地に駆けつけてくださったOBの皆様、保護者の皆様による大応援団にも支えられ、選手たちは持てる力を存分に発揮しました。

男子学校対抗では、初戦で東北ブロックの強豪である帝京安積高校と対戦し、3時間を超える熱戦の末、貴重な1勝を挙げることができました。競り合いが続く中でも、強気の姿勢を終始貫いたことが勝利につながりました。2回戦では、今大会3位入賞の育英高校と対戦しました。こちらが想定したプレーを展開しても、ようやく五分のラリーに持ち込むのが精一杯で、総合力の差を痛感させられる試合となりました。

男子ダブルス・シングルスにおいては、4試合ともスコア上は競り合う場面があったものの、「あと1点」が遠く、悔しくも勝利には至りませんでした。特に3ゲーム目以降の対応力において相手が一枚上回る場面が多く見られました。今回の経験を今後の課題として受け止め、さらなる成長につなげていきたいと思います。

学校対抗独特の緊張感に包まれた会場の中、卓球部18名全員が夢の舞台で懸命にプレーし、また必死に応援する時間を共有できたことは、非常に感慨深いものとなりました。このような晴れ舞台を生徒たちに用意することができたのも、皆様の日頃からの温かいご支援があったこそと、改めて深く感謝申し上げます。

今後は1・2年生を主体とした新体制となり、秋以降の大会に向けて新たなスタートを切っております。今回のインターハイで得た経験を糧に、さらに力をつけていきたいと思いますので、引き続き温かいご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【男子学校対抗】

1回戦 秋田3－2帝京安積（福島） 2回戦 秋田0－3育英（兵庫）

【男子ダブルス】

1回戦 齊藤・三上1－3長谷川・小池（樹徳・群馬）

【男子シングルス】

1回戦 齊藤1－3板橋（土浦一・茨城） 三上0－3小田島（清凌・岐阜）

2回戦 仁部1－3坪内（清凌・岐阜）

お礼のことは

秋田県立秋田高等学校卓球部

OB 会長 齊藤 修

この度は秋田高校卓球部のインターハイ男子団体出場に際して、多くの方々から物心両面にわたる御支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

皆様から賜りました御芳志につきましては、選手の滞在経費、ユニフォーム代等に有効に活用させていただきました。おかげさまで、選手たちは悲願であったインターハイで強豪校相手に精一杯戦うことができました。

結果としては団体戦2回戦敗退となりましたが、初戦を突破し、全国トップクラスのシード校に挑戦することができました。選手達は、全国の大舞台での経験を今後の部活動をはじめとする学校生活に活かしてくれることと思います。

どうぞ今後とも秋田高校卓球部に対しまして、変わらぬ御支援を賜りますようお願いを申し上げ、この度の寄付金への御協力に対するお礼の挨拶といたします。

令和8年度全国高等学校総合体育大会卓球競技 寄付金決算書

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	摘 要
寄付金	2,336,000	寄付者合計 973 名
合 計	2,336,000	

支出の部

(単位：円)

科 目	決算額	摘 要
部員・コーチ滞在費補助	1,010,355	交通費、宿泊費、練習会場使用料
ユニフォーム代	246,096	18 着(上下)
通信費	32,848	郵便費、印刷費
合 計	1,289,299	

※残金 1,046,701 円については、卓球部の競技力向上費に活用させていただきます。